



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995年 10月 18日

2017~18年度 テーマ

継続は力なり！
プロバスクラブの道に終わりなし
生涯現役でクラブライフを楽しもう

編集・発行：情報委員会



臨時総会・例会

日時：平成 29年 12月 14日(木) 12:30~14:30

場所：八王子エルシィ

出席者：49名 出席率 76.5%

(会員総数 68名 休会 4名 欠席 15名)

会食とハッピーコイン披露

山口例会委員長の進行で会食に入り、馬場副会長からハッピーコイン 20 件の披露があった。

(7 ページに掲載)

臨時総会

1. 開会

山口例会委員長

臨時総会開催を告げ、配布資料の確認。

2. 議長選任 (恒例により会長)

武田会長が議長席に着き、書記に寺田昌章会員、議事録署名人に有田進治会員、杉田信夫会員が選出され議事に入った。

3. 議題

「第22回生涯学習サロン特別会計予算(案)承認の件」永井昌平地域奉仕委員長より資料に基づき議案の説明がなされ、賛成多数で可決承認された。

4. 議長解任

5. 閉会

第 266 回 例会

1. 開会

山口例会委員長

第 266 回例会を開催します。

2. 会長挨拶

武田会長



皆様こんにちは。先月 28 日は第二回東日本ブロック交流会、ホストクラブとして無事盛会のうちに終えることができました。関係された皆様のご努力、ご苦労様でした。改めて御礼申し上げます。

この半年、八王子「宇宙の学校」、健康フェスタ、八王子いちょう祭り、と皆様のご協力で滞りなく終了し、プロバスクラブの地域奉仕活動も認知されてきております。また、シニアダンディーズの活動もプロバスクラブの PR に貢献しています。

さて、息つく間もなく生涯学習サロンの開催です。できるだけ多くのお客様にお越しいただけます様、勧誘のご協力をよろしく願いいたします。

今期の大きな課題は、クラブ財政の健全化の取り組みです。皆様のご意見をまとめ、ご報告致しますので、全員のアンケート提出をお願いいたします。

話は変わりますが、国民栄誉賞、将棋の永世 7 冠羽生善治さん、囲碁の七冠 2 度達成の井山裕太さんおめでたいですね。羽生さんは 30 年間で獲得タイトル 99 と聴けば聴くほど、凄い偉業ということがわかりました。八王子で育ちましたが、やはり所沢出身が優先されますかね。八王子の星として誇りたいところですが。

ところで、私たちのクラブも高齢化が進み運営にもそれなりの対応が必要になりました。そこで手始めに、1 月の例会・新年会の時間を従来より 1 時間繰り上げて、15 時より開始、新年会は 19 時に終了ということで予定しました。皆様の無事と、遠来のお客様のご都合を配慮いたしました。寒さが続きます。

忘年会や大掃除、これからあわただしくなると
思います。ご自愛の上、新年をお迎えください

3. パースデーカード贈呈

武田会長より池田会員手作りのパースデーカード
が11・12月生まれの会員に贈られました。



左から宮城、斉藤、飯田（12月）、山崎修司、東山、
杉山、渋谷（11月）、（武田会長）8会員（敬称略）

4. 卓話

「モンゴル旅行の思い出」 2017. 8. 21～26

田中 信昭

広大な草原と長閑な遊牧民の生活、以前から一度
行ってみたいと思っていたモンゴルへの旅が実現し
ました。この国と以前から深く交流され、既に7回



も訪問され
ている立川
会員のお骨
折りによる
ものです。
ガールスカ
ウトのリー
ダー達の強
い要望で実
現し、当ク
ラブから
は岩島会
員、土井
俊玄会
員と共に
参加させ
てもら
いました。
総勢9名。

成田空港から5時間半、時差1時間、8月後半の
首都ウランバートルは涼しく快適。到着日は珍しく
雨で、「いい人達が雨を持ってきてくれた」と喜ばれ
ました。立川団長の古くからのご縁で今回の旅の全
ての面倒を見て下さるアンガル氏（A JET 社長他）
の出迎えを受け、その施設と今回の旅の概要説明を
受けた後、市内のホテル（超一流）へ。夜の街は明
かりが少ない中でカラオケのサインが目立った。モン
ゴル語は全く異質な感じ、文字はロシア文字を借
用(?)している。旧来のモンゴル文字は縦書きで
実に美しいが…。

翌日から待望の草原の旅、西南西約280kmのバ
ヤンゴビキャンプへ。マイクロバスは行けども行け
ども続く大草原をひた走る。随分改良されたとは言
え道路はそんなに良くはない。何より途中でトイレ
休憩の場所がほとんど無い！大草原の中に羊の群れ
が…300万人弱の人口の10倍以上の家畜（羊、山
羊、牛、馬、駱駝）が放牧されていると聞くと、そ
の遊牧の生活実態は後にゲルを実際に訪問して知る
ことになる。この辺りでは珍しい小さな岩山の南側
に20個ばかりのゲルを配置したキャンプ場に到着、
近くの遺跡見物、小さな砂丘と称する広大な丘から
の眺望、あの向こうはゴビ砂漠。時々落ちる小雨は
上がったが、キャンプファイヤーは中止、満点の星
空を堪能。



3日目は旧都カラコリンへ向けて北へ。途中、ダ
ライラマの寺院や旧首都のカラコリン見学、チンギ
スハーンの帝国に思いを馳せる。ウギンヌールのキ
ャンプ場は湖の畔にあった。朝青龍も泊まるという
内部が立派な彩りのゲルでの一夜、ストーブをどん
どん焚かないと夜の冷え込みは半端ではない。ここ
では中国人の団体も夕食が一緒であったが、我々の
ガイドのウルチさん（人のいい美人・堂々たる体格）
は徹底的に中国を嫌っており、この国の実態を垣間
見た思いであった。

4日目、この日も快晴の夜明け。すぐ近くの遊牧
民のゲル訪問、飲み物、食べ物、日本人とそっくり
の子供達、千頭単位の羊と山羊の群れ。長く居て遊
牧の生活の実態をもっと知りたかったが、350kmの
ウランバートルへの帰路が待っていた。首都帰着後
は「民族音楽舞踊」の見学。多種の独特の楽器や民
族舞踊を楽しませてもらったが、モンゴルの人たち
は実に歌が上手い。中でも有名な「ホーミー」には
感動。どこからあの不思議な声が出てくるのか、人
の声とは思えない超低音、その上に小鳥が囀るよう
な超高音が転がる…一人の歌い手の喉から。喉歌と

訳されて日本でも有名らしいが、初めてじっくり味わい感動であった。この夜の「しゃぶしゃぶ」の肉の旨さとモンゴリアン・ウオッカ「チングスハーン」の味は忘れられない。

5 日目、滞在の最終日、午前中は市内中心街で買い物、午後は東の郊外テレルジ国立公園へ。まずは有名なカシミアの専門店へ。高級品が並ぶ店での優雅なお買い物。その後は市場へ。午前中で空いていたため、ゆっくりした買い物が出来、心配されたスリにも合わず、沢山のお土産を仕入れ、皆さんご満悦。その後フェルトの店にも立ち寄り、午後はテレルジへ。ここには草原の中に超大なチングスハーンの騎馬像が最近建設され、その中が宮殿と展望台になっており、我々も宮廷衣装をまとして優雅な記念撮影となった。一大リゾート地となっているテレルジではなかなか日の落ちない長い夕方を乗馬で楽しんで、あつという間のモンゴル紀行の最後を飾った。

6 日目、早朝 5:30 ホテル出発、帰りの飛行機も満席。皆顔が似ているからそのうち何%が日本人だったか不明。北朝鮮の上空を通るルートだったかも。～短期間ではありましたが、実に充実した旅でした。メンバー達の面白かった行動記録は紙面の関係で省略。感謝。

5. 幹事報告

内山幹事

卓話では、田中会員による「モンゴル旅行」のスライド・ビデオによる珍しく又楽しい映像を見せていただき有り難うございました。

先程、会長からお話がありましたが、10月に配付しましたアンケートの回収が遅れており、幹事の手許には 30 数通しか届いておりません。本日持参された方は後ほどご提出ください。又、本日お持ちにならなかった方は、今月 20 日までに幹事宛送付くださるようお願いいたします。出来るだけ多くの方々のご意見を集約したいと考えておりますので、ご協力の程お願いいたします。

6. 各委員会活動報告

(1) 例会委員会

山口委員長

例会の出席状況は出席 49 名、欠席 15 名、休会 4 名で出席率は 76.5%でした。

(2) 情報委員会

田中副委員長

プロバス日より 265 号をお届けしました。今回は山崎委員長の編集で、益々カラフルな素晴らしい出来上がりになりました。原稿がデータで頂けるようになり、編集上助かっています。第二回東日本ブロック交流会実施報告書は印刷の運びとなり、全国のプロバスクラブに配布される予定です。

(3) 会員委員会

戸田委員長

- ・入会等のパンフレットを作成したいと思いますので写真等の資料がありましたらお願い致します。
- ・1月の例会時に後期の会費を徴収いたします。
- ・新入会員のご紹介をよろしくお願い致します。
- ・吉田会員の住所変更の案内をメールBOXに入れておきました。

(4) 研修委員会

竹元委員長

11月の野外研修に際しては皆様のご協力に感謝いたします。40人から会費をいただきましたが、8人の方がご都合により不参加となったため、32人の参加でした。不参加の8人の方には返金致します。純収入から経費を差し引いた余剰金が13,296円となりました。この分は、ハッピーコインとさせていただきます。ご了承ください。ご了承願います。

矢島会員には集合写真をお撮りいただき感謝いたします。写真は参加者の皆様に配布いたしました。

本日の卓話は、田中会員による「モンゴル旅行の思い出」でした。大変興味深いお話と映像、ありがとうございました。次回は、持田会員による「自動車産業・今昔」です。皆様お楽しみに。

(5) 地域奉仕委員会

永井委員長

第22回生涯学習サロンの資料を配布しました。希望テーマ選択表に記入し、1月例会までに提出してください。一般サロン会員勧誘のお願い用紙も配布しました。ご友人の紹介をお願いします。

(6) 交流担当

浅川担当理事

東日本ブロック交流会に、大勢の皆様にご協力いただきまして、ありがとうございました。先日、多摩PCの忘年会がありました。日野PC、当クラブからも参加し、和やかな会になりました。又、1月には日野PC、当クラブの新年会がありますので、よろしくお願い致します。2月から生涯学習サロンが始まります。多摩PC、日野PCにも参加お願いしております。地域社会に奉仕する目的の成果をより上げるために、プロバスの輪をさらに拡げて行きましょう。

今月の宇宙の学校

「宇宙の学校」PJリーダー 下山邦夫

11月12日の教育センター本部会場のスクリーンをもち、今年度の八王子「宇宙の学校」の閉校となりました。延べ638組、1,276人の方々が参加しました。82.4%の高い参加率でした。又家庭学習レポートも当日来た人のほとんどの子供が持ってきました。子供達の発表も元気でした。これらは、夏休み後のリマインド通知や、台風の後の補習授業の通知など、きめ細かい配慮があったためだと思いますが、今年度の総括はまだやっておりませんので、改めて報告することになります。

スタッフも延べ578名を数えました。特に工科大会場では大学の方針で、学生は毎回大勢参加します。教育センター、北高でも大学生ボランティアが多数参加します。プロバス会員の実働は穏やかになりました。しかし講師の補助の役目がむしろ大切になってきました。テクニカルなことはもちろん、子供・親子への接し方、など研鑽する必要を感じています。学生は1,2年で交代しますので、継続して質を高めることが必要になります。

平成29年度八王子「宇宙の学校」参加者
(参加率82.4%)

会場	参加者(組)	同(人)
東京工科大	308	616
八王子北高校	135	270
教育センター	※ 195	390
総計	638	1,276

※教育センター、台風中止あり

大西卓哉宇宙飛行士講演会「宇宙へ、そして未来へ」

「宇宙の学校」後援会長 杉山友一

八王子「宇宙の学校」後援会につきましては、毎年プロバス支援の会として会員の皆様からご協力を頂いておりますが、当後援会は、平成29年11月26日(日)に行われた大西卓哉宇宙飛行士講演会に、JAXAと共に協力団体として参加を致しました。

当日の様子は、八王子市市制100周年記念事業として、CATVの取材を受けて全市に放映されたところではありますが、宇宙服に身を包んだ大西卓哉講師

は、文字通りの文武両道の達人ぶりで、私もすっかりファンになりました。

講師のお話は、大人にも子どもたちにも大変解りやすく、大きなスクリーンを通して、宇宙研究の原状と成果が、ロケットの打ち上げから地球への帰還までの体験談として解説され、我々は想像以上に既に宇宙時代に生きているのだということがよく理解できました。プログラムの後半では、会場に集まった子どもたちから次々と手が挙がり講師が質問攻めとなりました。僕は今中学2年生ですがどうしても宇宙飛行士になりたい、今は成績が5番なのですがどうすればいいですか、などなど、微笑ましい質問が次々と飛び交いました。講師は舞台から降りて、子どもたち一人ひとりの質問にしっかり答えを返して、握手をして励ましました。子どもたちには、素晴らしい思い出が刻まれた一瞬だったと思います。

講師曰く「人類の文明の一翼は、何時の時代でも、より高く、より遠くへ」の思いへの探求から築かれてきた、したがって、これからも、自身はその先の「月へ、火星へ」のテーマに挑戦し続けます、とのこと。今回の講演会を通じて感じ取れたことは、これからの文明社会の発展の方向性を代えるキーワードは、間違いなく「宇宙」だということであります。人類が抱える諸問題の解決には国家レベルではなく地球規模で考えなければならない時代に入っているということではないでしょうか。飛行士あてにご講演の御礼をメールしたのですが、折り返しに、子供たちの沢山の目の輝きに接して、これからの自身の研究活動の大きな励みになりますとのことでした。

この度の宇宙飛行士講演会は、市制100周年記念事業に相応しく大成功であったと結果報告をさせて頂く次第です。末筆ながら、「宇宙の学校」運営本部長の下山会員をはじめ、お力をお貸し頂いた会員諸兄に衷心より感謝、御礼を申し上げます。誠に有難うございました。なお、講演会のプレイベントとして、当クラブ所属のシニア・ダンディーズが出演し、錦上花を添えたことを追記しておきます。





7. 同好会からのお知らせ

ゴルフ愛好会

持田 律三

今年の秋は11月に入っても天候不順な日が多かったが、開催日11月10日(金)は雲ひとつない快晴の無風の中で、第32回八王子プロバスクラブ ゴルフ同好会のコンペがGMG八王子ゴルフ場で開催された。参加者は7名と少なかったが、全員元気に集合した。75歳以上の人はシルバーティからのティショットになるが、5名がシルバーティを使用、2名だけが普通のティからのスタートとなった。年齢は72歳から87歳のメンバーであったが、全員18ホールを元気にホールアウトした。プロバス会員は心も体も健康であることを証明していた。

プレイ終了後、表彰式があり軽食を入れて和やかに歓談し、楽しい一日を過ごしました。

参加者： 小林貞男・矢島一雄・下山邦夫・河合和郎・田中信昭・一瀬 明・持田律三

順位・ネットスコアは H/C 新ペリア方式 採用。

優勝	持田	37	43	80	ネット 70.4
準優勝	田中	46	40	86	72.8
3位	河合	46	46	92	74

次回は 来年春に開催予定です。

囲碁同好会 2017年秋季大会

橋本 鋼二

例年陣谷温泉一泊で行われ、囲碁三昧の時間となっている。今年は1ヵ月ほど遅れて12月1～2日の開催となり、部屋にはこたつが置かれ冬モードとなっていたが、周囲の紅葉はまだ美しかった。7人のプロバス棋士が集まった「烏鷲の争い」は1日午後から始まり、2日午前まで激戦が続いた。

定番の猪鍋や鱒の塩焼きなどで夜の懇親会を終えてからの1局はアルコール効果か思いがけない展開もあったらしい。翌朝の最終戦まで順位は不明、最後は勝ち数が並ぶ矢崎、吉田、浅川、橋本4人の中で勝ち越しポイントの多かった

橋本会員が優勝した。

私が初めて一泊しての大会に参加したのは2006年のこと、以降毎年参加してきた。今年は体調を崩したこともあり、参加できたうえに優勝とは望外の結果となった。



8. <温故知新>

「八王子プロバスクラブの発足当時のお話」

立川富美代

準備会：平成7年5月25日に八王子大学セミナーハウスにて第1回が開催されました。南ロータリークラブのプロバス設立提唱者である杉山、橋本、増田、酢屋さま他幹部の方々から10名の候補者が招集されて諸々の説明



を受けました。4回の準備会を持ち発足となりました。その10名のうち6名がメンバーとなり、33名のチャーターメンバーが平成7年10月18日に設立総会に参加しました。

発足宣言：南ロータリー10周年記念日の平成8年2月7日に、旗、バッジ、助成金の贈呈があり、正式に発足宣言がなされました。例会、会費、規約などは、最終準備会で決め、初代会長、人事も決定しました。初代会長は大野聖二、副会長：藤野、幹事：桂、例会：立川、情報：北原、会員：濱野、研修：田子、地域奉仕：野口と決定しましたが、大野、濱野、立川以外は鬼籍に入られてしまいました。

プロバス賛歌：旗、バッジと出来たので、ソングを

作ろうとしました。大野初代会長が作詞、私の知人である国立音大の教授の石井亨先生にお願いしました。歌詞が余りにも現代風でないからと大幅に変更いたしました。現在の歌詞となりました。また2番のはじめの歌詞が「のぞみなくしたこの国に」とあったため、会員から募集、故加藤会員の出された（平和かかけてこの国に）と変更しました。石井先生の伴奏譜を使って斉唱をしておりましたが、創立10周年の折に演奏をして下さいました陸上自衛隊東部軍方面音楽隊の隊長さんが伴奏譜を作して下さい、以来その伴奏譜を使っております。軽快なブラスバンドの素晴らしい伴奏で、全国あちこちのクラブに行きましても八王子のクラブソングくらい素晴らしいものはないと思っております。ついでにソングの歌詞を書かれたこととお話をしますと、4代目会長田子稔さんが、書道の師範をしておられて、当時パソコンで文字をなどと言う時ではなかったので書いて頂きました。落款まであります。また、生涯学習サロンの大きな横看板など書いて頂いたのですが、エルシィで1回ごとに捨てるものと、すてしまわれて以来、田子さんの書いたものはなくなりました。

メンバー:各人が規約にのっとり推薦して33名となりましたが、現在チャーターメンバーは7名となりました。女性メンバーの登録については、一度ちょっとした問題があり、以後大変慎重になりました。他クラブでも女性会員の参加につきましては大変慎重であり、女性会員の増加については期待されながらも増加は少ないようです。

メンバーズナンバー:発足当時アイウエオ順にナンバーをつけました。ところが、入会が増えるたびに自分のナンバーが変わってきます。その為に途中から現在の入会順にナンバーを付けて、欠けても空き番号としてそのままになっております。平成7年33名で発足いたしましたが、平成12年には55名となりました。

プロバスだより:平成7年の発足からすぐに始まり、平成7年12月号が1号で、現在は265号まで発行されております。

卓話:卓話は平成8年5月から始まり、1回に2名とか、15分持ち時間とかいろいろと試行錯誤の末に現在の型になっております。

学習サロン:これは大野初代会長が、最初から構想を持っておられて、発足当時から準備を始めました。

理事会で案を揉んで揉んでH9年の2月から始めました。現在の形になるまでには相当紆余曲折をしました。お茶を飲みながら対話形式と言うのが最初の理想でしたが、参加者が多く、中高年の女性が殆どと言う状態でしたので、少し最初の形態と変わってきたのであらうと思います。全部の講座を対話形式でなく、スタイルが違うのも良いかもしれません。

ホームページ:これは武田現会長が入会された時から私の希望としておりました。8代目の会長を私が受け持ちました時に、すぐに情報委員長をお願いして、ホームページを立ち上げる様をお願いしました。当時日本中のクラブの中で、ホームページを持っているところはありませんでした。現在は他クラブでも八王子のホームページ良く見てるよ。勉強させてもらっているという声を頂きます。益々充実してほしいと思っております。

交流:他クラブとの交流は、最初はクラブを作りたいからと来て頂くクラブが多々ありました。横濱、横須賀、多摩等々次々と見学に来られました。現在は次々と発足し、立派なクラブとなり交流も続いております。日野、浮き城などは、その当時の会長、杉山会員のお骨折りで出来たクラブです。5周年記念には神戸すずらんプロバス、10周年には京都プロバスとの交流と旅行をいたしました。

全日本:全日本プロバス協議会は平成15年、大阪プロバスの故中村会長のお声がかかりで発足しました。丁度私の会長年度で、設立総会にて関東から副会長との指名を受けました。全日本に参加するか、副会長を受けるかとパスト会長会議で議論をして頂き、登録し副会長を受けました。以後の活動は折にふれて報告いたしておりますが、2年毎の全国総会には、旭川総会、京都総会、神戸総会、小倉総会と、毎回15名くらいの会員が参加して全国のプロビアンと交流しております。来年は三重総会です。また楽しい旅行を計画したいと思っております。

20年も昔の話で、記憶が少し外れているところもありますが、年をかながみてご容赦ください。たくさんお話したいこともありますが、この辺で失礼します。

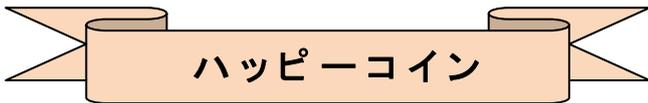
9. プロバス賛歌斉唱

10. 閉会

馬場副会長

本日は、生涯学習サロンの予算案の承認、本年度

の「宇宙の学校」関連事業の報告等年末に相応しい内容の例会でした。またビデオを駆使した「モンゴル旅行」の卓話、当クラブの発起集会から第10期頃までを中心に「温故知新」のお話もあり、楽しい会でした。一方欠席者が15名にも達したことは大きな懸念材料であります。年末年始にかけて会員の皆様が健康に十分留意されるようお願いいたします。正月例会では元気に再会しましょう。



◆胸部心臓手術に成功し、心拍が安定しました。又しばらくお世話になります。 **渋谷 文雄**

◆例年の年末健康診断、CT、内視鏡2回他、みんなOKでした。そこで2コイン。 **下山 邦夫**

◆7月17日八王子市制100周年“社会を明るくする運動”でシニア・ダンディーズが出演。いちょうホールの大ホールで初めて歌いました。11月18日、法務省より感謝状を頂きました。これからも社会に役立つコーラス活動を楽しみながら続けます。

立川富美代

◆昨年は廃車、今年は転居と終活の準備。新年度は何をするか。 **吉田 信夫**

◆半期のお勤め、大過なく過ごせました。残り、健康に留意し勤めたいと思います。 **武田洋一郎**

◆11月18日、19日の第38回いちょう祭りには、多数の会員の皆様にご協力頂き、誠に有難うございました。両日ともまずまずの天候のもと、市制100周年記念の数々のイベントを展開し、延べ50万人のお客様を呼ぶ盛会となりました。 **佐々木 研吾**

◆茶会発足して早や14年、ようやく市の福祉文化発表会にて茶会を開催できました。“日々是好日”の努力が実り感謝です。 **阿部 治子**

◆プロバス囲碁同好会秋季大会で優勝しました。

橋本 鋼二

◆東日本ブロック交流会、大勢の皆様のご協力ありがとうございました。プロバスの輪を拓げるためこれからもよろしくお願ひします。 **浅川 文夫**

◆12月14日、双子座流星群が13日～15日に見られると早朝2時半に起き、玄関を出て空を仰いだ冬の三角や双子座ポルクスが輝いていたが、20分間位

して1つだけ。星に願いを「世界平和」！ **八木 啓充**
◆平成21年1月スタート、会員への贈り物、池田会員お手製のバースデーカードが今年も誕生月で一枚増えました。来年のあと一枚で、十年ひと昔の完成です。さー頑張ろう！！ **2C 杉山 友一**

◆11月26日いちょうホールで開催された宇宙飛行士、大西卓哉さんの「宇宙へ、そして未来へ」の講演会に際し、東京八王子プロバスクラブの協力とシニア・ダンディーズの協賛出演に感謝致します。 **杉山 友一**

◆11月28日開催された全日本プロバス協議会「第2回東日本ブロック交流会」は東京八王子プロバス会員を筆頭に、北は北海道、南は九州から多くの会員が集い、意見交換や会員の親睦が計られハッピー。ここで一句「プロバスで つながる友は 全国に」

荻嶋 靖久

◆全日本ブロック交流会、無事成功裏に終わりハッピーハッピーです。 **飯田富美子**

◆東日本交流会が好評のうちに無事終了しました。皆様のご努力が実って八王子プロバスクラブの存在感が益々大きくなったように思われます。今後も力を合わせて頑張りましょう。 **田中 信昭**

◆一昨日、相武カントリークラブで行われたプライベート・コンペで何とイーグルが出ました。7番のロングホール（パー5）の3打目が直接カップに転がり込んだのです。この前やったのがいつだったか思い出せないほど久方振りです。 **田中 信昭**

◆今年最後の旅行に19日より上海に行ってきます。

野口 浩平

◆久しぶりの再会楽しかったです。誰に？上野博物館開催の「運慶展」の仏像に。 **内山 雅之**

◆今年1年、無事であったことに感謝。 **佐々木秀勝**

◆生涯学習サロン、名簿の整理や名札の作成依頼などがはじまって、いよいよだなど感じる様になりました。多数の応募を期待したいと思います。

一瀬 明

< 22回生涯学習サロンのご案内 >

「野外サロンのご案内」予告その1 **飯田富美子**
今回は足利学校と鑢阿寺と製薬会社とフラワーセンターの見学です。

去る9月と12月の2回に亘りサロンの計画地を実踏してまいりました。下見から見た足利の街、学

校、足利氏の氏寺をご紹介します（製薬会社、フラワーパークは次号、その2でご紹介）。

実施日の工程に添って八王子駅を8時に出発し1回の休憩をはさんで、1回目は野口さんのスポーツカーに乗せて頂き、第2回は持田さんの高級車セダンに乗せて頂き2時間弱で予定地に着きました。

既に足利へは学習サロンでも行ったことがあるとは聞いておりましたが、プロバス会員でも、サロンの参加者でも新しい会員が増えたこともあり催行する事に決めました。日本の教育の原点、足利学校では孔子の教えた学び舎の自学自習の面影を感じることができます。隣接する**国宝 鑊阿寺**は四方に堀と土塀がはりめぐらされ鎌倉時代の武家屋敷の面影を今に伝えています。この日は境内の天然記念物大銀杏の落葉でまっ黄色に染まった地面、美しさは圧巻でした。運転をさせていただいた野口さん、持田さんお疲れ様でした。開催日も天候に恵まれて実施できます事を担当者一同今から願っています。

紙面の都合で、**昼食編**（新装の「**太鼓橋**」での懐石弁当）。シミックHD（一部上場）の子会社シミックCMO足利工場。藤の美しいフラワーパーク編は次号に掲載させていただきます。

30年4月28日、出発です。次号をお楽しみに！
会員の皆様の学習サロン、野外サロンへのご参加！
大勢さまのサロンへのお誘い、

よろしく願い申し上げます。



（担当：地域奉仕委員会 持田・飯田・野口・荻島）

表紙の富士山は高取会員撮影。尚、岩島会員、有田会員、八木会員から素晴らしい寄稿が、また矢島会員から新しい年の始まりにふさわしいアンナプルナ、ヒマールなどの写真が届いております。紙面の都合で次号に掲載させていただきます。どうぞお楽しみに。



俳句同好会便り

私の一句～十二月の句会から

河合 和郎

年々一年が短くなってくると感じる。四季を追う俳句づくりもめまぐるしく季が過ぎてゆく。せめて作品には悠久の時を託したのだが。さて今月は。

冬もみぢ媪たたづむ石だたみ 山形 忠顯

穏やかな日常の一コマを一句に。暖かな冬日の中、媪が冬紅葉の美しさに見入っている。作者もまた。

柵の葉先鋭く花を守る 東山 榮

小さな花に優しい眼差しが注がれる。可憐に香る小さな花を葉の鋭い棘が守っているようだ。

手拍子に拍子木添へて酉の市 矢島 一雄

お酉さまの賑いを音で写生した一句。幸いを搔きこみ、客を搔き寄せるとか。今年も幸多き一年に。

言の葉と遊び暮らして年果つる 池田ときえ

句作をこう表現した人を私は知らない。このくらい感覚でないと名句は生まれないかもしれない。

猪狩りの仕草も跳ねて囲む鍋 田中 信昭

猪を仕留めた人の得意顔が見えるよう。お酒も入って、美味なる猪鍋の宴が盛り上がったに違いない。

滞ることのみ多く暦果つ 飯田富美子

誰もが実感する年の瀬の感慨。あれもこれもと気ばかり焦って。でも一夜明ければ新しい年が来る。

引越しの残る雑巾冬日中 立川富美代

雑巾の俳句は珍しい。作者は最近引越しをされた由。雑巾にペースを感じるのも俳人の感性か。

小雪の風が急かせる読経かな 馬場 征彦

小雪は二十四節季の一つで十一月の初め頃。墓、ぶでの法事の一景か。肌寒い風に読経も駆け足に。

胸を裂き命繋ぎて冬に入る 渋谷 文雄

生きる事の凄まじさを詠んで秀逸。作者は最近ペースメーカーの手術を。まだまだ俳句三昧の日々が。

もの言はぬ錆し勲章十二月 河合 和郎

十二月八日は開戦の日。あれから七十年余。怒りも悔悟も遠くなりつつある。勲章は何を語るのか。

編集後記：今号は内容が豊富で、予定していた寄稿文等が掲載できませんでした。大変失礼しました。

佐々木 秀勝